

雑がみを出す時の注意点

- 封筒に窓枠がついているものはその部分を取り除いてください。
※個人情報に記載されたものは取扱いに充分注意してください。
- 紙袋の取っ手がビニールやプラスチックのものは取り除いてください。
- ティッシュの箱の取り出し口のビニールは取り除いてください。
- 紙箱はつぶして(展開して)紙ヒモで縛って出してください。今まで「その他紙」として集積所に出していただいた時にはヒモで縛らずにボックスへ入れていただきましたが、今後、雑がみはすべて紙ヒモで縛ってから専用のボックスに入れてください。ガムテープでは絶対に縛らないでください。金属やプラスチックが付着したファイルやバインダーは金属やプラスチックを取り除いてください。ホチキス針もできる限り外してください。
- カタログなどに化粧品の試用品や繊維物などの見本が付いているものは取り除いてください。
- 小さなものは大きな雑がみに挟んでいただくか、紙袋に入れて出してください。ダンボールとは一緒にしないでください。



【お知らせ】

8月14日～16日はごみの収集業務はお休みです。集積所にごみを出さないようお願いいたします。また、井戸沢最終処分場も閉場となりますのでご注意ください。

可燃ごみ 分別に手間ひまかけて 資源物

- 町では、資源化の促進
可燃ごみの減量化を図るため
家庭から資源物として出される
紙類の分別を見直しました。
7月からは
これまでの『その他紙』のうち
【牛乳パック】以外の紙を
【雑がみ】という名称にします。
具体的には、次のような紙類です。
収集にご協力をお願いします。
- 紙の箱(これまでのその他紙だったもの)
お菓子の箱、食品の箱、化粧品の箱、ティッシュの箱など
 - 包装紙
ワックスなどで防水加工されていない包装用の紙など
 - コピー用紙
学校からの通知やテスト用紙など
 - その他
パンフレット、カレンダー、画用紙、紙袋、封筒など

雑がみとして出せない紙類

- 次のものは
『可燃ごみ』でお出しください。
- ワックスなどで防水加工された紙
紙コップ、紙皿、紙製のカップ・容器、紙製のヨーグルト容器、油紙、ロウ紙など
 - カーボン紙、ノーカーボン紙
宅配便の複写伝票など
 - 感熱紙
ファックス用紙、レシートなど
 - 合成紙
カップ麺のふた、お酒の紙パックなど
 - その他
印画紙の写真、写真プリント用紙、感光紙(青焼きコピー紙)、油のついた紙、著しく臭いの強い紙、食べかすなどで汚れた紙(タオルペーパーや使い終わったティッシュペーパーなど)

不明な点は
役場 環境衛生係まで
お問い合わせください。

Information

投票に行こう!

「選挙」は私たち一人ひとりのために

8月6日(日)は

長野県知事選挙投票日



私たちは、家族や地域、学校や職場などさまざまな社会の中で暮らしています。私たちの生活や社会を良くするために私たちが意見を反映させてくれる代表者が必要です。その代表者を決めるのが「選挙」です。

期日前投票ができます!

当日、投票できない人は、期日前投票ができます。期日前投票は、期間内であれば土曜日、日曜日でも投票できます。

※入場券を持参してください。

期間 7月21日～8月5日まで

時間 午前8時30分～午後8時

場所 役場町民ホール

(町役場の玄関を入った正面です)

【問い合わせ先】

御代田町選挙管理委員会

32-3111(内線 55・56 番)

こんにちはは農業委員会です

■御代田町農業委員会事務局 32-3111 内線26・27番

鳥獣被害から農地を守るために!

今年、例年に比べシカやイノシシが頻繁に出没し、作付けの終わった農地を荒らしています。当町における平成17年度のシカの捕獲実績は17頭となっていますが、今年、面替地区で15頭の群れが発見されています。シカは分布域も個体数も増えてきます。低山域、里山がシカの本来の生息地です。増加の原因としては、天敵がいなことがあげられます。

イノシシは助走なしで1m以上の柵を跳び越えたり、2mの柵でもよじ登ります。また、20cmの隙間があればぐり抜ける能力も備えています。体を覆う剛毛は電気を通しにくい「鎧」のようです。更に学習能力が高く、覚えが早く、一度覚えると忘れないという優秀な動物です。

対策としては、クズ野菜、生ゴミ、落下果樹などの放置は餌付けと同じ効果になりますので、即回収するか、見えないように隠すなどの処置をしてください。ただ地面に軽く埋めた程度では、パワーショベルのような鼻で簡単に掘り返されてしまいます。

また、耕作放棄地や田畑周辺のヤブを刈り払って見通しをよくし、隠れ場所をなくすなど、イノシシが嫌がる環境をつくるのが対策の第一歩です。

なお、電気柵・防除ネット等の資材購入費の補助がありますので、詳しくは町産業建設課農林政策係へお問い合わせください。

防除の決め手は「柵」

防除柵の設置がシカの被害対策の中心になります。物理的に農作物を隔離し、上手に管理を行えば、被害を防除することができます。柵は、15cm以下の間隔で高さ1.8mから2m。地面からくぐり抜けができないようきっちり防ぐことで効果があります。

イノシシは植物食の雑食家

一方イノシシは、臆病で注意深い動物で、なかなか人前に姿を現しません。